

プレスリリース



提出：平成28年5月23日

一般社団法人 日本森林学会 「林業遺産」 2016年度8件(含む追加選定1件)を選定しました

事業の背景と経緯

日本各地の林業は、地域の森林をめぐる人間の営みの中で編み出され、明治期以降は海外の思想・技術も取り入れながら、大戦期の混乱を経て今日に至るまで、多様な発展を遂げてきました。

日本森林学会では、学会100周年を契機として、こうした日本各地の林業発展の歴史を、将来にわたって記憶・記録していくための試みとして、「林業遺産」選定事業を2013年度から開始致しました。

4年目となった2016年度は、全国各地から計14件の応募があり、そのうち8件を林業遺産(登録No.13、17~23)として認定しました。選定結果は、2017年5月23日の日本森林学会定時総会に併せて公表され、認定証・記念品が各件の所有者・管理者に贈呈されました。

問い合わせ先など

事業推進責任者：日本森林学会 会長 中村 太士
林業遺産選定委員長 佐藤 宣子

広報責任者：日本森林学会 総務理事 堀 靖人
林業遺産選定委員会 事務局委員 竹本 太郎

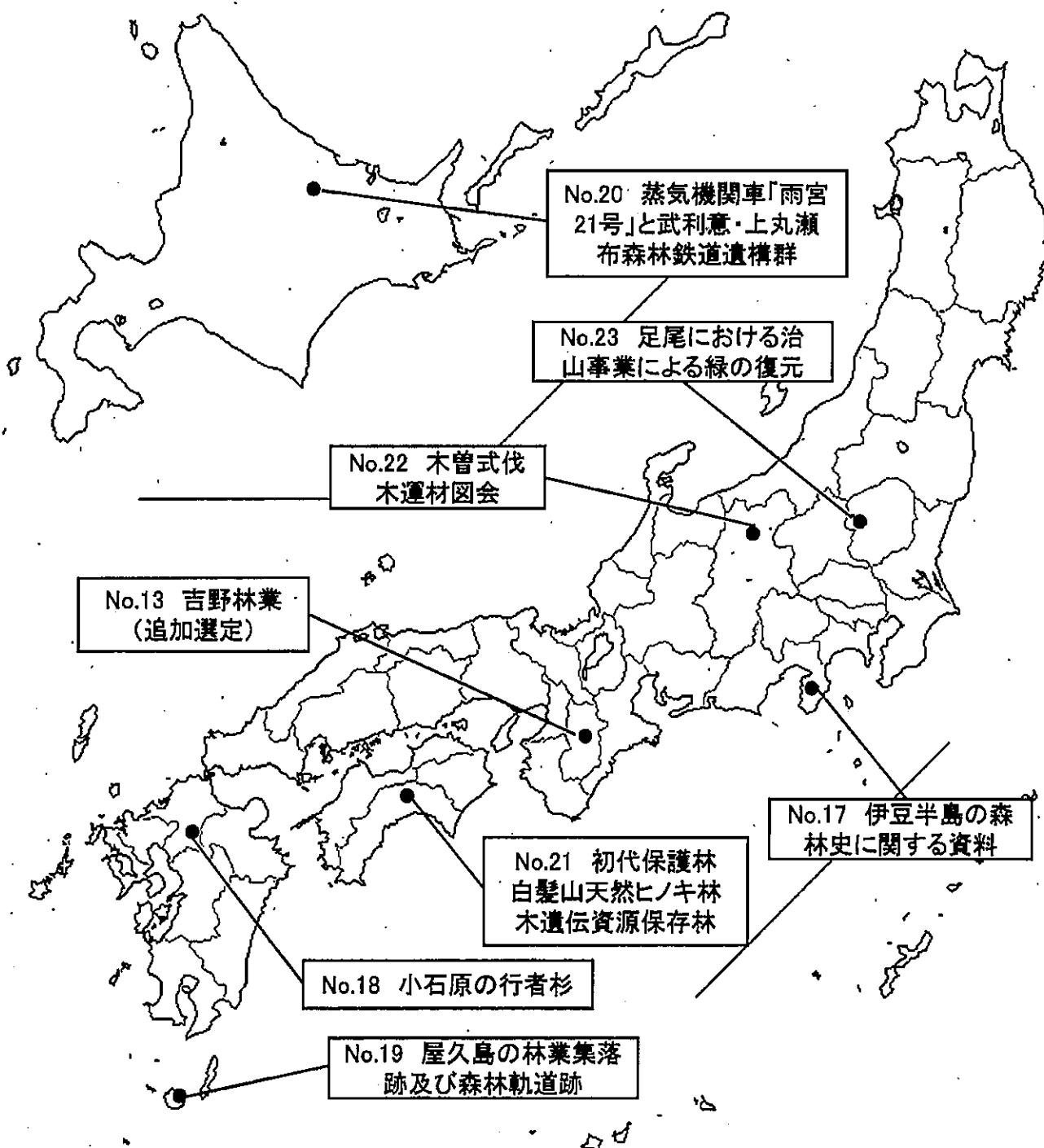
学会事務局：〒102-0085 東京都千代田区六番町7 日林協会館内
Tel&Fax:03-3261-2766

...詳細情報については、学会ウェブサイト「林業遺産」もご参照下さい。

<http://www.forestry.jp/activity/forestrylegacy/>

今回の選定によって、登録された林業遺産は23件に達しました。
2016年度以降も当事業は継続して参りますので、各地からの積極的な応募推薦をお待ちしております。

2016年度林業遺産 登録No.13、17～23 所在地図



2016年度：林業遺産選定結果と主な内容

登録番号	対象名	分類・形式	成立年代	所在地	所有・管理者	説明
17	伊豆半島の森林史に関する資料	資料群	昭和30年代	静岡県伊豆市牧之郷	伊豆森林管理署	400年にわたる伊豆地方の森林に関する制度や政策の歴史をまとめた概説およびその収集史料。
18	小石原の行者杉	林業景観	昭和63年	福岡県朝倉郡東峰村	福岡森林管理署	英彦山での峰入修行の際に小石原の地に修験者が奉納植栽したスギの巨木群。
19	屋久島の林業集落跡及び森林軌道跡	林業景観、林業跡地、建造物、搬出関連、資料群	大正後期	鹿児島県熊毛郡屋久島町	屋久島森林管理署	島内の林業生産の拠点となった林業集落跡地や現在も一部活用されている森林軌道群。
20	蒸気機関車「雨宮21号」と武利意・上丸瀬布森林鉄道遺構群	搬出関連	昭和3年	北海道紋別郡遠軽町丸瀬布	遠軽町	武利意森林鉄道の軌道敷を利用して定期的に運行する、国内で唯一動態保存された森林鉄道蒸気機関車「雨宮21号」。
21	初代保護林 白髪山天然ヒノキ林木遺伝資源保存林	林業記念地	大正4年	高知県長岡郡本山町	四国森林管理局	大正4年に発足した保護林制度に基づき学術参考保護林に指定された天然ヒノキ林。
22	木曾式伐木運材図会	資料群	明治時代前期(推定)	長野県長野市	中部森林管理局	江戸時代後期頃の木曾地方や飛騨地方で行われていた伐木・運材の技術について、美麗な絵図と詞書で解説する絵巻物
23	足尾における治山事業による緑の復元	林業記念地	明治初期	栃木県日光市足尾町赤倉ほか	関東森林管理局、栃木県環境森林部	足尾銅山周辺の荒廃した森林を、長期にわたる治山事業により回復させた。
13	吉野林業(追加選定)	搬出関連、建造物	昭和14年	搬出関連: 奈良県吉野郡吉野町橋屋、丹治、飯貝および上市地区 建造物: 奈良県吉野郡吉野町上市地区	搬出関連: 吉野町、吉野製材工業協同組合、吉野木材協同組合連合会 建造物: 吉野木材協同組合連合会	吉野材の集散基地を形成し、地位を築き上げた貯木場とそのシンボルである洋風建築事務所。

事業の内容

「林業遺産」事業では、各年度ごとに以下の分類に基づき、林業発展の歴史を示す景観、施設、跡地等、土地に結びついたものを中心に、体系的な技術、特徴的な道具類、古文書等の資料群を、林業遺産として認定しています。

- (1) 林業景観(用材林、防災林、薪炭林、特用林産物生産林等の森林の利用に関する景観)
- (2) 林業発祥地(有名・独特な施業体系をもつ林業の発祥地)
- (3) 林業記念地(記念植樹、旧係争地等の森林利用に関するメルクマールの意味を持つ土地)
- (4) 林業跡地(施業跡地、土場・炭焼き等の利用跡地)
- (5) 搬出関連(森林軌道、林道、筏場、木馬道等。現存・跡地を含む)
- (6) 建造物(林業発展の歴史を示す建造物。現存・跡地を含む)
- (7) 技術体系(林産物加工技術、施業計画等)
- (8) 道具類(地域の林業発展を特徴づけるまとまった道具類)
- (9) 資料群(林業関連のまとまった古文書・近代資料、写真、映像等)

候補の推薦は、学会員を通じて行われ、「林業遺産選定委員会」にて審議の上、理事会の承認を経て選定となります。推薦にあたっては、対象の所有者・管理者の了解を得ていることが条件です。

一般の窓口として、「地区推薦委員」(6名)を設けています。林業遺産としての認定を希望される対象の所有者・管理者の方は、その所在地区の地区推薦委員にお問い合わせの上、推薦の代行を依頼することができます。



<林業遺産ロゴマーク>

2016年度林業遺産 (No.19) 屋久島の林業集落跡及び森林軌道跡

屋久島は、「屋久杉」とよばれるスギの巨樹が生育する林業地として知られ、優れた森林景観も広がる。

大正期に国有地が確定すると、国有林と港を結ぶ森林軌道が敷設され、屋久杉用材だけでなく、木炭・薪などの燃料材なども運搬された。

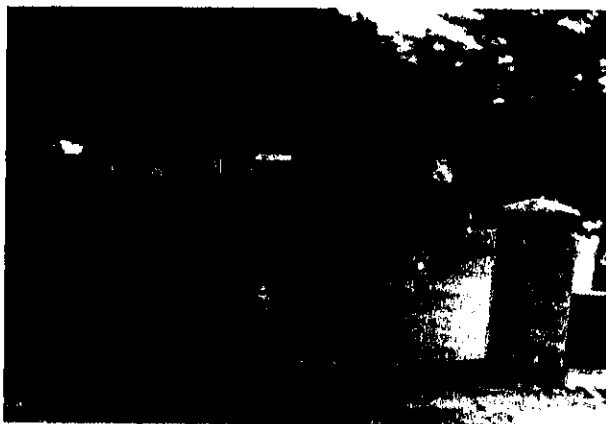
森林軌道沿いには、職員・作業員が暮らす林業集落も形成され、とりわけ小杉谷一帯には、最盛期には500人を優に超える住民が生活していた。最後まで存在した小杉谷集落は昭和45(1970)年に閉鎖されたが、事業所・小中学校跡などの遺構は現在も残っている。また一部の軌道は、水力発電所の維持管理のために現在も重要な役割を果たしている。

このほかに、屋久島の林業を記録した古写真集も保管されてきた。

こうした屋久島林業史を物語るものはいずれも貴重であり、林業遺産として選定した。今回選定された林業遺産が適切に保全され、後世にその価値が受け継がれることが期待される。

認定対象: 林業跡地: 小杉谷集落などの林業集落跡
搬出関連: 森林鉄道・軌道及び関連施設跡
建造物: 森林鉄道・軌道、隧道、橋梁、集落跡ほか
林業景観: 屋久杉自然林、屋久杉伐採後の高齢級杉(コスギ)林等
資料群: 林業古写真集

所在: 鹿児島県熊毛郡屋久島町内各地



小杉谷小・中学校 (昭和40年頃)



林業古写真集



一般社団法人 日本森林学会
The Japanese Forest Society

林業遺産
Forestry Heritage

認定証

屋久島の林業集落跡及び森林軌道跡

未来にわたって記録・記憶されるべき価値を有するものとして、
屋久島の林業集落跡及び森林軌道跡を林業遺産に認定・登録する

認定日：2017年5月23日

一般社団法人 日本森林学会

